

新年あけまして

おめでとございませう。

不怠山上行寺壇信徒の皆様並びにご家族の方々には今年一年心身ともに健やかに過ごされますようお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

餅柱を飾り

宗祖お会式

十一月十三日、第七百三十六回の宗祖お会式が行われた。今年も三色の餅が十八段積み上げられ、色合いが螺旋のように見える餅柱が須弥壇の左右に立てられた。

このような餅柱が飾られるお寺は全国的にも珍らしく教区内では上行寺だけのです。三色餅をお会式三日前より仏教婦人会の方々に準備します。お参りが終われば柱を崩して参詣の皆さんに三色のお餅をお配りします。

次回のお会式には是非ご参詣いただき美しく飾られた三色の餅柱をご覧下さい。

新設の参道

通行可能になりました

上行寺中興地百五十年記念参道新設工事にあつて檀家の皆様方から多大の貴重なご浄財をお納めいただいていることにたいし厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月末にはほぼ工事も終わり、路面に流水溝を設ける工事などを残すのみとなり、通行可能な状態となりました。そこで、参道新設工事実行委員に御出席を願ひ12月24日「通行安全祈願」を行いました。



お会式餅柱



北陸の雪深い山沿いに位置する上行寺にあつて冬期間常時参道が通れるよう常々願つておりましたので安堵いたしておりました。これも壇信徒の皆様のおかげであります。今後、降雪時に融雪設備等の稼働状況などを確認し、春には完成を目指したいと願つております。尚一層の御協力をお願い申し上げます。



(写真:上行寺向拝の彫刻)

秋のついで

11月25日、秋の夜長のなか、榎原壮年団主催する「秋のついで」が、上行寺で行われました。本堂で読経ののち、日蓮大聖人様から三師様へと、法華宗陣門流にいたるまでの流れを説明しました。メンバーも若返り、懇親会では壮年団・集落総代・寺総代で酒を酌み交わし、和氣藹々のなか、壇信徒と地域の絆を次世代へと繋いでいく良き集いとなりました。



秋季彼岸会後

オカリナが響く

9月23日の午後には秋彼岸会法要が行われた。静寂の本堂に参詣の方々の揃つた読経が響き渡つた。法要後、オカリナ演奏グループ「オカリナクラブユーユー」(代表・坂井啓佑氏)による演奏会があつた。総勢10人のベテランメンバーの方々の澄んだ音色と巧みな演奏に参詣の皆さんもうっとり聞き惚れていた。オカリナの種類も豊富で音色、音の高さなどに応じて大小取り替えながらの演奏はみごとであつた。



今月の主な行事

正月祝禱会

一月一日、二日、三日、七日、十五日早朝六時より

お日待・節分会

厄払い・交通安全等受付中!!

HP:「[榎原上行寺](#)」で検索!